

第十九回国会

法務委員会議録 第五十二号

(九五三)

昭和二十九年五月十日(月曜日)

午後二時四十二分開議

出席委員

委員長 小林 鑑君

理事 鐵治 良作君

理事 田嶋 好文君

理事 井伊 誠一君

吉田 安君

木原津與志君

佐竹 晴記君

木下 郁君

出席政府委員

総理府事務官(調) 達彦

内閣事務部長

検事(民事局長) 森

民事局長

委員外の出席者

判事(最高裁) 判事

民事局長

村上 朝一君

専門員

村

隆一君

専門員

小木

貞一君

五月十日

委員田嶋好文君辞任につき、その補

欠として緒方竹虎君が議長の指名で

委員に選任された。

同日

委員緒方竹虎君辞任につき、その補

欠として田嶋好文君が議長の指名で

委員に選任された。

同日

田嶋好文君が理事に補欠選任した。

本日の会議に付した事件

理事の互選
小委員の補欠選任
接収不動産に関する借地借家臨時処

理法案(吉田安君外三名提出、第十六回国会衆法第八二号)
 裁判所法の一部を改正する法律案
 (内閣提出第七九号)
 民事訴訟法等の一部を改正する法律案
 (内閣提出第八〇号)
 民事訴訟用印紙法等の一部を改正する法律案(内閣提出第一一六号)
 国際連合の軍隊に関する民事特別法の適用に関する法律案(内閣提出第一一六六号)

○小林委員長 これより会議を開きま
 す。

理事並びに民事訴訟法等の一部を改
 正する法律案外二件審査小委員の補欠
 選任についてお詫びいたします。すな
 わち田嶋好文君について、本日議長に
 おいて委員異動が行われましたので、
 理事及び当該小委員に欠員を生じたわ
 けであります。

○小林委員長 これより会議を開きま
 す。

第五条及び第六条を削る。

第十二条及び第十三条を削る。

第十四条を次のよう改める。
 (接収地が疎開建物の敷地である
 場合の土地優先賃借権及び借地権
 優先譲受権)

第十二条 第三条(第二項を除く。)
 第四条(第二項を除く。)及び
 第五条から第七条までの規定は、
 罹災都市借地借家臨時処理法(昭
 和二十一年法律第十三号)第九
 条の疎開建物の敷地の借地権者
 であつて、昭和二十三年九月十四
 日現在において当該疎開建物の
 敷地が接収中であつた者に準用す
 る。但し、同日までに同法第九条
 において準用する同法第二条の規
 定による賃借の申出又は同法第九
 条において準用する同法第三条の
 規定による賃借の申出又は同法第
 九条において準用する同法第三条
 の規定による借地権の譲渡の申出
 をした者については、この限りで
 ない。

第十五条を削る。

第十六条に見出しとして「(接収
 借地借家臨時処理法案を議題といた
 します。)

本案並びに田嶋好文君外三名提出の
 建物の賃借権者の建物優先賃借権」
 を附し 同条を第十三条とし、第十
 七条を第十四条とする。

○小林委員長 次に接収不動産に関する借地借家臨時処理法案を議題といたします。

本案に対する修正案を一括して質疑を行います。

「四条」に改め、同条を第十五条とす
 る。

第十九条中「若しくは第十二条」を「第
 二十二条又は第十八条」に改め、これ
 らの規定をそれぞれ第二十二条、第
 二十二条及び第二十三条とする。

第二十七条を第二十四条とする。

○小林委員長 質疑の通告があります
 から、これを許します。木下郁君。

○木下委員 この法案ですが、これは
 十六国会に議員立法として提案されま
 して、その当時から戦災地、疎開地に
 関する臨時措置が立法化がされま
 した。その立法の趣旨と同じような意味
 で、まことに適切なる立法だと考
 えていたわけであります。ところがそれ
 が継続審議になつて、今日まで足かけ
 三年、長い間きまらないでやつて来た
 に、「若しくは第十三条(第十四条を
 含む。)」を「(第十二条において準用す
 る場合を含む。)」に、「第十五条
 「第十二条において準用する場合を
 含む。」を「(第十二条において準用す
 る場合を含む。)」に改め、同条を第十七条と
 する。

第二十二条第一項中「第十二条」
 (第十四条において準用する場合を
 含む。)第十五条若しくは第十六
 条を「(第十二条において準用す
 る場合を含む。)」に改め、同条を第十八条と
 する。

「(第十二条において準用する場合を
 含む。)」を「(第十二条において準用す
 る場合を含む。)」に改め、同条を第十八条と
 する。

○田嶋委員 ごもつともな御質疑だと
 思うのでござります。その点提案者も
 恐縮に存じておるわけでござります
 が、木下委員も御承知くださいますよ
 うに、この法案は第十三回国会——たし
 か佐瀬委員長當時だつたと思うのでござ
 ますが、当法務委員会にこれに対
 する小委員会が設けられまして、小
 委員長として私が就任いたして参り
 ました。ちょうどどこの第十三回国会は、
 会期の終りころにこれが提案されま
 した。たゞ、この会期終了になりまして、小委
 員会は次の国会に持ち越されるようにな
 りました。次の国会で、この小委員会

第十八条中「第十七条」を「第十
 二号

第二十二条から第二十六条まで中

で審議中に、たまく御承知のようにならざるも解説が行われまして、そのため小委員会においては継続審議といふ形になつたのでござります。第十四回国会、これは私が法務委員長になりました関係で、小委員長には当時の松岡松平議員がなられまして、この法案作成の小委員会審議が進められたわけあります。これまた御承知のような国会の事情になりまして、突然解散が施行され、この国会でも通過を見ることができませんでした。統いて十六国会になつてこの法案をいろいろ審議を願いました結果、ようやく十六国会において本委員会に提案となつたわけあります。これも結論を出すために相当会期の切迫を見まして、遂に継続審議といふことになりました。今日の委員会にかかり、きょう御審議を仰いでいるような事情であります。

○木下委員 もう一つ、修正された案につきまして、借家人の保護といふ面が削られてしまつて、察するところ時間的な経過があつたので、借家人のおちつきどころといふようなものも相あつたという事情があるからかとも思ひますが、元来が、当初からの趣旨は、借家人もくるめて所有者と一緒に解除の機会に埋合せをしようといふのがこの立法の趣旨であるように思つたのですが、借家人の部分が——これは人數がられないえばその方が多いのじやないかと思う。そういうのが落されてしまうと、その方の保護はなくなるといふことになりますが、そういう点はどういう理由でありますか、承つておきたい。

○田嶋委員 これまで木下委員御承知

抜打ち解散が行われまして、そのため小委員会においては継続審議といふ形になつたのでござります。第十四回国会、これは私が法務委員長になりました関係で、小委員長には当時の松岡松平議員がなられまして、この法案作成の小委員会審議が進められたわけあります。これまた御承知のような国会の事情になりまして、突然解散が施行され、この国会でも通過を見ることができませんでした。統いて十六国会になつてこの法案をいろいろ審議を願いました結果、ようやく十六国会において本委員会に提案となつたわけあります。これも結論を出すために相当会期の切迫を見まして、遂に継続審議といふことになりました。今日の委員会にかかり、きょう御審議を仰いでいるような事情であります。

○木下委員 もう一つ、修正された案

につきまして、借家人の保護といふ面が削られてしまつて、察するところ時間的な経過があつたので、借家人のおちつきどころといふようなものも相あつたという事情があるからかとも思ひますが、元来が、当初からの趣旨は、借家人もくるめて所有者と一緒に解除の機会に埋合せをしようといふのがこの立法の趣旨であるように思つたのですが、借家人の部分が——これは人數がられないればその方が多いのじやないかと思う。そういうのが落されてしまうと、その方の保護はなくなるといふことになりますが、そういう点はどういう理由でありますか、承つておきたい。

○田嶋委員 これまで木下委員御承知

の際最高裁判所当局より発言の申出が

のないように、小委員会におきましたは、今御質問あられましたような点が重点になります。これまた御承認いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○小林委員長 関根説明員 この法律がもしお通りいたしますと、ある程度事件がふえる。いたしました資料によりますると、一昨年の十二月末現在の接収解除件数が、土地が千三百件、建物が四千件、合せて五千件といふようになります。そこで、大分建築事情も変化してありますし、また土地所有権侵害などに面からの反対意見等も相当出て参つたわけであります。その後社会の推移を見ておりますと、大分建築事情も變化つて参りましたし、それに伴いまして住宅の事情が軒轅して来たということになりますので、こうした紛糾ある、議論のある借家権保護の立場をいつまでも問題にしておるときは、せつかでも時期的に失してしまつというようならから、われくといたしましたはまことに残念ではございますが、そうした法案をひとと成立させたいといふ面から、涙をのんでこの規定を削除いたしましたようなわけであります。

○木下委員 この法案が成立すると施行をするわけであります。裁判所の仕事となることは当然察せられるわけではありません。そうすると予算といふ費用の面がやはり問題になりますしないかと思う。そういう点はどういうふうにお考えになつておるか、ちょっと伺つておきたいと思うわけであります。

○田嶋委員 ただいまの御質問に対しましては、裁判所当局が參つておりますのでその方から説明をさしていただきたいと思います。

○小林委員長 お詫びいたします。この際最高裁判所当局より発言の申出が

ありますので、国会法第七十二条第二項によつてこれを承認いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

その内容を申し上げますと、第一に連合軍使用不動産に存した賃借権の取扱いについて東京都の意見、要望等を書いたものが一冊になつております。それから特別調達府の保護法規と

が全然ないかと申しますと、実は租税署にまとめました。それから調達府に特に予算の要求をいたしませんでも、従前の罹災都市借地借家臨時処理法に認められました予算の範囲内に上げました約五、六十万円のため上に出て参りますと、あるいはそのとおりに予算費あるのは補正予算等の措置が、これを集めたのが部厚なものでございませんが一つございます。それから接収不動産の数量、P.D.の件数、これは接収調達要求書といふものでござります。P.D.の件数を詳細に取扱つたもの、それから接収解除の件数また軍がございません。しかし今お話を承りますと、建物の関係の分が削除されますから、千件の見積りが約半数になります。P.D.の件数を詳細に取扱つたもの、それから接収解除の件数また軍がございませんが、そのときはまたようしくおきましたが、そのときはまたようしく話をせざるを得ない事態が来るかも存じませんが、そのときはまたようしく国会におきました御援助いただきたいと思います。

○木下委員 時がたつておる生活も今から五、六年前に比べればおちつきであります。そうすると五百件、実はこの五百件のうちでもむずかしい事件につきましては、御承知の通り裁判官だけではなくして、専門家の意見を集める鑑定委員会を開かなければならぬわけであります。鑑定委員会を開きますと、来ておおだらかに意見を述べるのです。それで、専門家の意見を集める鑑定委員に対しましては、必ずしもわれくといたしました鑑定委員に對しましては、裁判所の意見が出ておるし、戦災、罹災地のあの法律で大体間に合うのではないかといふふうにもわれくといたしました鑑定委員は推察ができるわけだと思います。

○木下委員 時がたつておる生活も今から五、六年前に比べればおちつきであります。そうすると五百件、実はこの五百件のうちでもむずかしい事件につきましては、御承知の通り裁判官だけではなくして、専門家の意見を集める鑑定委員会を開かなければならぬわけであります。鑑定委員会を開きますと、来ておおだらかに意見を述べるのです。それで、専門家の意見を集める鑑定委員に対しましては、裁判所の意見が出ておるし、戦災、罹災地のあの法律で大体間に合うのではないかといふふうにもわれくといたしました鑑定委員は推察ができるわけだと思います。

参考書類といたしましてはこの程度でございますが、なおこれらの資料をつくります場合には、相当各方面の意向を聞き合したのでございまして、官庁といたしましては東京都、特別調達府、大蔵省、法務省、裁判所、民間小委員会において意見を承つた次第でござります。

最後に、衆議院の法務委員会における立案の経過といたしましては、資料の第四に衆議院法務委員会における立案概要といふものがございまして、それからそのほかにこう小委員会において意見を承つた次第でござります。

つた法律が通りますと、法律の内容を徹底いたさせるために解説書を無料配付することをやつております。これまた御承認いたしたいとも思つます。

○田嶋委員 調査書類その他につきましては、ここにおる専門員からお答えいたすことにいたします。

○村専門員 調査書類その他につきましては、大分たくさんつくつたのでござります。約四冊にわけまして百三十ページです。大体この程度でございます。

○木下委員 今特に聞きたいとも思つ

て、しかも熱心なる論議がとりかわされたわけであります。委員会の空気全体いたしましては、借家に対する土地使用権といふものは、社会秩序、法秩序維持の上からぜひ存置すべきものである、これを法制化しなければならぬという意見が多かつたのでござります。そこで一応小委員会の結論といたしましては、多数の意見をもちましてこれにおちついたわけでございますが、御承知のようすに委員会に法案がかかりますと、また小委員会当時からもそうどころでございましたが、結局借家に対してはあまり保護をし過ぎるんじやないかといふ譲讓が起り、また一方におきまして、土地所有者の侵害といふような憲法上の問題もあるのだというような議論も起りまして、相当この法案が成立に難航を続ける結果になつたのでござります。そこでいふところ考え方ともこれの問題も起りまして、相当この法案が成立して参りまして、従つて借家事情等も加味し、住宅事情が緩和された形がとられておる。また将来ともこれらの面は緩和されて行くのじゃないか、こういふようなこととも考え合せました結果、借家権を法制化することによつて、この議論の結果、この法案の先がどうなるのだというような不安で、しかも審議未了になるのじやないかといふようなことを考へますとき、借家権もさることながら、借地権保護といふ重大な面が死んでしまつおそれがあるので、この場合住宅事情の緩和による将来の見通し等を加味いたしまして、まず借地権を確保する、これを法制化することに即応するといふ意味だけでも生かすことによつてこの面の法的の社會秩序をひとつ維持しようといふ気持になつたわけです。

○小林委員長 国際連合の軍隊に関する民事特別法の適用に関する法律案を議題といたします。

〔総員起立〕
○小林委員長 御異議ないものと認めた、討論はこれを省略し、ただちに採決を行ふことといたします。
さすがに田嶋好文君外三人提出の修正案について採決いたしました。本修正案に賛成の諸君の御起立を求めます。

〔総員起立〕

○小林委員長 御異議ないものと認め、討論はこれを省略し、ただちに採決を行ふことといたします。
さすがに田嶋好文君外三人提出の修正案について採決いたしました。本修正案に賛成の諸君の御起立を求めます。

〔総員起立〕

〔総員起立〕
○小林委員長 御異議ないものと認め、討論はこれを省略し、ただちに採決を行ふことといたします。
さすがに田嶋好文君外三人提出の修正案について採決いたしました。本修正案に賛成の諸君の御起立を求めます。

〔総員起立〕

〔総員起立〕
○小林委員長 御異議なしと呼ぶ者あり
案は可決すべきものと決しました。
次にたたいま議決いたしました修正案を除く原案について採決いたしました。これに賛成の諸君の御起立を求めます。

〔総員起立〕

〔総員起立〕
○小林委員長 起立總員。よつて修正案を除く原案について採決いたしました。

○小林委員長 起立總員。よつて修正案を除く原案について採決いたしました。これに賛成の諸君の御起立を求めます。

〔総員起立〕
○小林委員長 起立總員。よつて修正案を除く原案について採決いたしました。これに賛成の諸君の御起立を求めます。

○小林委員長 この際民事訴訟法の一部を改正する法律案外二件を議題とし、質疑を進めます。質疑の通告がありまことにから、これを許します。林信雄君。

○林(信)委員 お尋ねしたいと思います一点は、法案のうちいわゆる調書及び判決の方式等の合理化といつたよう点の改正案であります。これは憲法七十七条に基く改正案であると思われます。從いまして憲法第七十七条との関連を持つわけであります。この

部分を除く原案は可決すべきものと決ました。従いまして接收不動産に附する借地借家臨時処理法案は修正議決すべきものと決しました。

○小林委員長 この際民事訴訟法の一箇条を改正する法律案外二件を議題とし、質疑を進めます。質疑の通告があります。林信雄君。

〔総員起立〕
○小林委員長 御異議なしと呼ぶ者あり
案は可決すべきものと決しました。
次にたたいま議決いたしました修正案を除く原案について採決いたしました。これに賛成の諸君の御起立を求めます。

〔総員起立〕
○小林委員長 起立總員。よつて修正案を除く原案について採決いたしました。これに賛成の諸君の御起立を求めます。

〔総員起立〕
○小林委員長 起立總員。よつて修正案を除く原案について採決いたしました。これに賛成の諸君の御起立を求めます。

〔総員起立〕
○小林委員長 起立總員。よつて修正案を除く原案について採決いたしました。これに賛成の諸君の御起立求めます。

〔総員起立〕
○小林委員長 起立總員。よつて修正案を除く原案について採決いたしました。これに賛成の諸君の御起立求めます。

〔総員起立〕
○小林委員長 起立總員。よつて修正案を除く原案について採決いたしました。これに賛成の諸君の御起立求めます。

〔総員起立〕
○小林委員長 起立總員。よつて修正案を除く原案について採決いたしました。これに賛成の諸君の御起立求めます。

の考え方、これを承つて参考にしたいと思うのですが、あなたまかせの話でなくて、自分がその立場に立つたならばという見地に立つての意見を伺つておきたい、こう思うのです。たとえばわれ／＼の考え方から参りますれば、民事訴訟法——刑事訴訟法の場合においてもそうであります。が、手続法といふものは自然手続はこまかくなつて行くのであります。どこへ線を引くかといふことはまことに明瞭でないので、実際問題となつて来るのであります。が、手続法の手続法たる趣旨に沿うものは少くとも抽象的な意見としては、訴訟なるべく手続法にこれを定め、規則はどこまでもその補助的な細目的なものであらねばならぬ、こういう抽象的な考え方だけは根幹になるのではないかと思うのですが、その考え方です。形式論で法律がつくられればその法律は侵しませんといつたことではなくて、どこの点に基準を置いて考えるのが正しいのだとかお考へになつておるかの意見です。これをお伺いしておるわけなんです。重ねて伺います。

○村上政府委員 先ほど立法政策上の

妥当性の問題であると申し上げたのであります。が、法律案を立案するにあたりまして、これを規則にゆだねるといふ内容の法律案を立案いたします際におきましては、いかなるものを規則にゆだねるのが妥当であるかということを私どもとしても考へるわけであります。先ほど申し上げましたように、当事者の実体上の権利義務に直接関係のあるものはもとよりであります。が、その他基本的な手続につきましては法律で規定されることが妥当であると考えますけれども、細目にわたりま

しては、むしろ訴訟の実際に通じておられます最高裁判所において、單なる裁判所の事務能率の点ばかりでなく、國民の権利の伸張、擁護といふ立場から見て、最も合理的な規則をお考へする次第であります。

○林(信)委員 そこで今回御提案になつております調書及び判決の方式な

どに關します部分の現行法削除關係

なるという信頼を基礎といたしまして、裁判所の規則制定権にまかせる方

が妥当ではないか、かように考えてお

ましても、最高裁判所におかれましては、最高裁判所におかれましては信頼しておるわけであり

ます。最高裁判所事務局におかれましては別な形を持つて來てやるか、あ

るいは規則においてそれに相当する規

定を設けないかといふような点につき

ましては、最高裁判所におかれましては規則制定諮問委員会等にも諮詢しまし

て、慎重に最も合理的な内容の規則を

おつくりになると、いうことを政府とい

たしましては信頼しておるわけがあり

ます。最高裁判所事務局におかれましては、すでに政府より民事訴訟法の

準備されました一應の案はあるのであ

ります。もしお求めがあれば最高裁判

所事務局から御説明いたすのが適当

かと考へております。

○林(信)委員 私的にはこの中の百十

四条、二百二条、三百八十三条のそれ

ぞれ第二項のようですが、これらのも

のはもう削りばなしといふようなこと

も承つたよう思ひますが、それを明

らかにしていただきたいと思ひ。

○村上政府委員 東京三弁護士会から

出ました改正案に対する意見の中で、

削除を主張されております規定のう

ち、第一百十四条第二項、第二百二条第

二項、第三百八十三条第二項、この規定

は調書または判決の方式を規則に委任

するということとは関係のない規定で

あります。が、規則に委任することに反

対であるからこれらの規定を削除せよ

といふことは、やや見当がはずれてお

るよう思ひます。百十四条第一項に担保を供すべき者が担保を供さ

なかつた場合の訴えの却下、二百二条

第二項は不適法な訴えで欠缺補正でき

ない場合における訴えの却下、三百八

三条第二項は不適法な控訴の却下に

つきましてそれ／＼当事者を審訊すべ

き旨の規定であります。が、これらの規

定制定の経過及びその後の実績から申

しまして、存置の必要がない、かよう

に考へて、このたびの改正案におきま

るいは規則においてそれに相当する規

定を削除することを内定しておるで

あります。

○林(信)委員 この際いま少しく重要

な問題についてお尋ねしようと存じま

したが、本会議の関係がありますから

一応これを打切ることにいたしましたが、

ただ一点たいたいまの点に関連いたし

まして、すでに政府より民事訴訟法の

記録のサンプルといつたようなものを

個人的にはいただいておるのでありま

す。あるいはルールの要綱といつたよ

うな書面も參つております。これは正

式に委員長の方に御提出くださるよう

に最高裁判所の方にお願いをしておき

ます。私の質問は一応これくらいで打

切つておきます。

○小林委員長 それでは本日はこの程

度にとどめておきます。明日は午前十

時より民事訴訟法等の小委員会、午前

十時三十分より委員会を開会すること

といたします。

本日はこれにて散会いたします。

午後三時四十一分散会

〔参照〕
接収不動産に関する借地借家臨時処理法案(吉田安君外三名提出、第十
六回国会)に関する報告書
国際連合の軍隊に関する民事特別法
の適用に関する法律案内閣提出)に
關する報告書

〔都合により別冊附録に掲載〕

昭和二十九年五月十三日印刷

昭和二十九年五月十四日発行

衆議院事務局

印刷者 大蔵省印刷局